

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 11 日 (2021.11.11)

【公開番号】特開 2020-120785 (P2020-120785A)

【公開日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-032

【出願番号】特願 2019-13322 (P2019-13322)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 4 日 (2021.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、遊技球が流下する遊技領域が形成された遊技盤と、表示部を有する表示装置と、を備える遊技機に関する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

遊技球が流下する遊技領域と、発射装置によって打ち出された遊技球を前記遊技領域へと案内するための発射球案内通路と、が形成された透明な遊技盤を有する遊技機であって、前記遊技盤の裏面側に、複数の識別情報を変動表示する変動表示装置を設けた遊技機が知られている（例えば特許文献 1 参照）。すなわち、透明な遊技盤を通じて変動表示装置の表示部（表示画面）を視認するタイプの遊技機が知られている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 0 9 - 3 4 4 3 7 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

従来の遊技機では、遊技盤を透して表示部を視認可能であり、表示部の前方を遊技球が流下可能な構成である場合に、例えば全体的に暗い画像を表示部に表示する演出を行うと

、表示部の前方を流下する遊技球が視認困難になってしまうことがあった。

本発明の目的は、遊技球の視認性を確保することである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

遊技球が流下する遊技領域が形成された遊技盤と、表示部を有する表示手段と、を備える遊技機において、

前記遊技領域における所定の遊技球流下領域は、前記表示部の前方に位置しており、

前記表示部における前記所定の遊技球流下領域と前後に重なる重複領域の少なくとも一部に、所定の明度の画像を表示することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、遊技球の視認性を確保することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下する遊技領域が形成された遊技盤と、表示部を有する表示手段と、を備える遊技機において、

前記遊技領域における所定の遊技球流下領域は、前記表示部の前方に位置しており、

前記表示部における前記所定の遊技球流下領域と前後に重なる重複領域の少なくとも一部に、所定の明度の画像を表示することを特徴とする遊技機。